

● プログラム＜2日目／分科会＞

2024年9月8日(日) 9時30分～12時@東北福祉大学 ステーションキャンパス
【会場参加のみ】

第5分科会:災害時のボランティア活動を考える

<概要>

阪神淡路大震災から急速に広がった災害時のボランティア活動は、その後の東日本大震災にて活動の規模が拡大していきました。現在では被災地域における復旧・復興において、なくてはならない存在になっています。しかし、2024年に発生した能登半島地震の最前線では、ボランティア活動のあり方や考え方も含めて、その様相がかなり変化してきています。

そこで、本分科会では、東日本大震災時にボランティア活動を支えた災害ボランティアセンターの取り組みや、その後の度重なる自然災害における災害ボランティア活動の取り組み、そして今現在も続いている能登半島地震の最前線での活動を報告するとともに、災害時のボランティア活動の進化や深化について考えていきます。

また、グループワークでは、災害時のボランティア活動に対する期待やこれからの活動について、皆さんとともに考えたいと思います。

<登壇者>

司会・進行:菅原 里江さん(東北福祉大学)

実践報告 :春 由美さん(仙台市社会福祉協議会)

加藤 大介さん(大崎市社会福祉協議会)

コメンテーター:阿部 由紀さん(BIG UP石巻)

清水 冬樹さん(東北福祉大学)

<プログラム>

9時30分 オリエンテーション・主旨説明

9時40分 【実践報告】

『東日本大震災における災害ボランティアセンターの取り組み』

『能登半島地震にみる災害ボランティア活動の現在地』

10時20分 コメンテーター発言

10時40分 【グループワーク】 と 【各グループからの報告】

テーマ

『災害時におけるボランティア活動のこれからを考える』

11時45分 報告者、コメンテーターのコメント、まとめ

11時55分 閉会(事務連絡)